災害から 命を守る選択を

～ 避難の意味を考える ～

『避難』とは安全を確保することであり、既に安全な場所にいる人は危険を冒して避難所に行く必要はありません。

避難先は町が指定した避難所に限らず、安全が確保されている親戚宅や知人宅も避難先となりえます。また、自宅に留まること（以下「在宅（自宅）避難」といいます。）や、安全な場所へ私有車で避難（以下「車中避難」といいます。）することも避難です。

避難所での集団生活は新型コロナウイルス感染症拡大リスクが高まることも考慮しなければなりません。自分や家族の命を守るため、状況に合わせた最適な判断をしましょう。

問合せ　地域支援課　☎62－2152

台風・豪雨時の避難方法判定フローチャート

① 自宅が川沿いまたは山の斜面付近にある

NO → **A 在宅（自宅）避難**

YES ↓

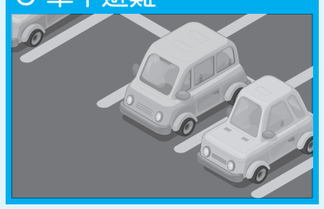
② ①以外の場所に住んでいる親戚・知人がいる

YES → **B 親戚・知人宅への避難**

NO ↓

③ 車を所有している

YES → **C 車中避難**



NO → **D 避難所への避難**

※川沿いまたは山の斜面付近以外の地域で災害が起こる可能性もあります。気象庁や町の発表する避難情報を参考に状況に応じた避難をしましょう。

A 在宅（自宅）避難

どんなときに有効？

○自宅での安全確保ができるとき

○避難のため外にでるのが危険なとき

※在宅避難を想定し、普段から水・食料等を１週間程度備蓄しておきましょう。（自宅での備蓄例は５Ｐ）

B 親戚・知人宅への避難

どんなときに有効？

○親戚・知人宅での安全確保ができるとき

※普段から親戚・知人宅への安全な避難ルートを確認しておきましょう。

※新型コロナウイルス感染予防に努めましょう。

C 車中避難

どんなときに有効？

○自宅等が危険な状況にあるとき

○私有車で避難場所まで安全に移動ができるとき

※エアコンを利用し熱中症予防をしましょう。

※エコノミークラス症候群予防のためストレッチ等を行いましょう。

D 避難所への避難

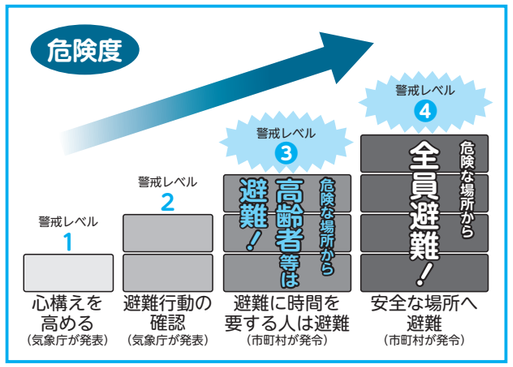
どんなときに有効？

○自宅等が危険な状況にあるとき

○持病や障害等により、長時間車内に居ることが困難なとき

※避難所内では新型コロナウイルス感染予防に努めましょう。

警戒レベルってどんなもの？



警戒レベル３	警戒レベル４
高齢者等は避難	全員避難

防災情報は、災害発生の危険度と町民の方々が取るべき行動を５段階の「警戒レベル」で提供します。なお、警戒レベル５（市町村が発令）は既に災害が発生している状況です。